科目番号	59015	分類	専門科目 臨床看護学	履修者	看護学研究科博士課程	学年
科目名	成育看護学 （ Child Health and Development Nursing Science ）					1 配当セメスター 通年

担当者	○中島　美津子　他１名	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概要】 子どもの発達とそれらを支える環境に関する理論や具体的な内容・方法などについて、歴史的背景、理論の位置づけ、理論の概要、看護実践における応用等を文献レビューや研究のクリティークを行い、医療・看護・福祉・教育上の研究の動向と課題を探求し、子どもとその家族の支援に向けた具体的な看護実践や研究方法について教授する。 【目標】 1. 成育看護学における子どもの発達に関する理論を説明でき、具体的な支援に向けた方法を検討できる。 2. 成育看護学における子どもの発達を支える環境に関する理論や内容・方法などについて、研究アプローチを提案できる。	○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力
	○	3. 地域社会の保健ニーズに即した実践的研究教育能力
	○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
		5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担う事ができる能力
		6. 実践を行いながら学部学生の臨地実習を指導できる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回	成育看護学に関する概念	中島 他１名
第２回	成育医療・看護を取り巻く社会情勢	
第３～６回	成育看護学における発達理論 フロイト・ハヴィガースト・エリクソン・ピアジェなど	
第７～９回	成育看護学における組織発達 ティーチング・エンパワーメント・コーチングなど	
第９～11 回	成育看護学における様々な理論 コーピング理論、セルフケア理論、ソーシャル・キャピタル論など	
第 12・13 回	子どもとその家族を取り巻く環境に関する組織理論	
第 14・15 回	AYA 世代などの移行期医療・看護	

事前・事後学習	事前学習：文献や書籍にて各回のテーマについて把握したうえで、各自の学習ポイントを抽出しておく。また、指定された課題を提出する（評価対象）。 事後学習：文献や書籍、講義資料等から講義内容を復習する。また、指定された課題を提出する（評価対象）。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと
評価の方法	プレゼンテーション、ディスカッション、課題の成果から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	Edward Alan Glasper(Ed):Oxford Handbook of Children's and Young People's Nursing2th（Oxford Univ Pr） Parul Datta (Ed) :Pediatric Nursing3rd(Jaypee Brothers Medical Pr)
備　　考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。